

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立伊勢原中学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈に即して漢字を適切に使用したり、言葉の意味を理解したりすることができる。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解できている。 ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えること。 ・目的や場面に応じて質問する内容を検討すること。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の根拠となる三角形の合同条件を理解することができる。 ・無解答率が低く、最後まで問題を解こうとする姿勢がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数で表された事象について、その意味を考察し、その意味を理解すること。 ・箱ひげ図から読み取れるデータの傾向を的確に捉え、数学的表現を用いて説明すること。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・道案内をしている英会話を聞き、その内容について最も適切に表しているイラストを選択する設問などでは、正しい解答を選ぶことができる。 ・書かれた英文を読み、その概要として適する問題に関して、適切な解答を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を書く問題について一貫性のある文章を書くこと。 ・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つように英文を完成させること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身についている。 ・自分にはよいところがあると認識し、人が困っているときは進んで助けようとする生徒が多い。 ・授業では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫してまとめ、発表する姿勢が身についている。 ・道徳の授業では、学級やグループで話し合う活動に意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家で自分で計画を立てて勉強をすること。 ・家庭学習に対する意識が低いこと。 ・先生が自分のよいところを認めてくれていると思っていない生徒が少ないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張や登場人物の心情を読み取るために、文脈における語句の意味を正しく理解できるようにしていく。 ・話し合い活動等を通じて、自分の意見を根拠を明確にして、述べるようにしていく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章から何を問われているか読み取り、式や図でまとめる力を伸ばしていく。 ・基礎基本の定着に努めていく。 <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、あらゆる表現方法を用いて会話をする帯活動などを行い、日常的に会話を行う機会を設けていく。 ・読む活動を行った後にその文章に関する考えや感想を書く活動を設け、四技能のバランスを取りながら、アウトプットをする力を育てていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>各ご家庭の支援や学校に対するご理解とご協力により、生徒は落ち着いて授業や諸活動に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣はほぼ定着しています。引き続きご指導をお願いします。 ・自分のよいところを認め、困っている友人がいたら助けてあげるとても良い姿勢が見受けられます。ぜひ褒めていただきたいと思えます。 ・学習については「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えている生徒は少ないです。時間の使い方や学習の進め方など、ご家庭でも支援していただけたらと思えます。
